

2026年度 授業改善アンケート第2Q・前期「教員コメント(学生に対するフィードバック)」

<2Q>

No.	講義名	氏名	教員コメント
1	日本国憲法 (M)	青山 浩之	日本国憲法は、第2クォーター水曜日4講目と金曜日1講目の科目で、履修者78名、平均出席者61.8名(平均出席率79.2%)という状況で、回答者が47名であった。授業スキルの評価は、特に設問1「シラバス」設問3「時間配分」設問4「板書等」では好評価を受けた。授業の全体印象に関する評価では、問9「熱意をもって授業に取り組んだ」設問10「満足度」については好評価であった。設問11「自由記述」ではとても分かりやすい/難しいところも詳しく教えてくれていたのとでもいい勉強になりました。」「問いに対する先生の解答が不十分であり、分かりづかった」
2	日本国憲法 (S・D・A)	後藤 啓倫	受講生の皆さん、アンケートへのご協力ありがとうございました。授業のスライドやプリント、アニメキャラクターを用いた説明が分かりやすかったとの声をいただき、うれしく思います。また、毎回の質問へのフィードバックが理解を深める助けになったという意見も励みになりました。一方で、試験時間や問題量についてのご指摘もいただきました。皆さんの声を今後の授業改善に活かしていきます。ありがとうございました。
3	数学入門	横山 哲也	字の大きさや話し方及び音量など、学生の理解しやすい講義に気を配る。
4	統計学入門 (M)	伊藤 裕康	学生の様子に注視しながら授業を進めるように心掛けていたため、授業スピードが丁度よかったとコメントしてくれた学生がいる一方で、少し速すぎてついていくのが大変と感じる学生もいました。より学生の状況をこまめに確認しながら授業を進めていくように心掛けます。
5	統計学入門 (SDA)	伊藤 裕康	授業のスピードが速くならないように学生の様子をみながら授業を行い、授業速度を調整していたことを評価してくれた学生がいた一方で、まだ速いと感じる学生も複数名いました。今後も学生の様子をより詳しく見て回ることと速度調整に努めたいと思います。
6	法学	青山 浩之	法学入門は、第2クォーター水曜日3講目と金曜日5・6講目の科目で、履修者122名、平均出席者102.2名(平均出席率83.8%)という状況で、回答者が70名(回答率68.7%)であった。授業スキルの評価は、特に設問1「シラバス」設問2「話し方」設問5「配布資料」では好評価を受けた。授業の全体印象に関する評価では、問9「熱意をもって授業に取り組んだ」設問10「満足度」については好評価であった。設問11「自由記述」では「授業の冒頭で流されるAIを活用した振り回りの動画は、図や表を用いて説明されていたため、とてもわかりやすいと感じました。」「授業中、周囲の人が騒がしいことがあったので、もう少し注意して頂きたいです。」
7	政治学	後藤 啓倫	受講生の皆さん、アンケートへのご協力ありがとうございました。授業内容や資料、毎回の質問へのフィードバックが理解の助けになったとの声をいただき、大変うれしく思います。一方で、試験時間や問題量、大講堂での私語についてのご意見もいただきました。皆さんから寄せられた貴重な声を今後の授業改善に活かし、授業をより身近に感じられる授業を目指していきます。ありがとうございました。
8	基礎英語Ⅱ (M-信濃)	信濃 吉彦	履修者に対して回答者が少なかったのであまり喜べませんが、概ね好評価でした。ありがとうございました！ 英語に関しては総じて「分かる・分らない」「レベルではなく「やる・やらない」レベルの状態だと思います。
9	基礎英語Ⅱ (M-岡島)	岡島 徳昭	英語能力にバラツキがあるので極力容易な例文を多く用い、学生の理解力向上に努めたい。
10	基礎英語Ⅱ (M-石田)	石田 映子	内容は「基礎英語Ⅰ」より難しかったと思いますが、頑張っている姿が印象に残りました。指名されることを嫌がるのではなく、むしろ自ら活発に授業参加してくれる学生もいて頼もしかったです。一方、皆が同じ英語のレベルではなく、その差が大きかったので心配もありました。最終的には履修者全員が合格という結果となり良かったです。
11	基礎英語Ⅱ (M-井坂)	井坂 肇	授業の理解度、満足度は概ね良好であった。今年度からテキストを変更し、演習の量を増やした。演習の授業なので、各学生の語学力に応じた対応を取れるようにした点も評価してもらった。一方、中間・期末テストの成果を確認すると、十分に理解できていないことが分かった。講義中に言語力の別のアンケートの結果を踏まえると、文法の理解と同時に自分の身の回りのことに対して発信する練習をする身に付くと感じた。次年度はこの部分に対してアプローチしたい。
12	基礎英語Ⅱ (SDA-西崎)	西崎 毅	「シラバス等の説明」「話し方」「時間配分」「字や図の表現」「教材」「理解度の確認」「興味・関心」内容の理解「熱意」「満足度」のすべてにおいて「適切だった」「そう思う」以上が100%でした。「分からないところを毎回丁寧に答えていただきました。良かったです。」「今まで受けてきた英語の授業の中で一番わかりやすかったです。」「英語が苦手な英文も正確に読み取り、英文を作るということができなかったが、この授業を受けて説明がとても分かりやすくなり、英文は文型を捉えたら簡単に作れるんだと改めて理解できました。」「自己紹介発表なども良い経験になりました。」「苦手な英語がここまで楽しいなんて！ ！ありがとうございました。」「どんな些細なことで、分からないところは、教えていただけて助かりました。」「等の評価を励みに一層の改善に努めます。
13	基礎英語Ⅱ (SDA-宮嶋)	宮嶋 達也	今回のアンケートでは、「英語が苦手だったけれど、周りとコミュニケーションを取りながら進める授業だったので楽しく学べた」「アクティビティ中心で英語に親しみやすかった」という声が多く寄せられました。授業の活動を通して、英語への抵抗感が減り、楽しさや達成感を感じてもらえたことと嬉しく思います。また、「アクティビティのおかげでプロシールのレベルが上がった」という具体的な成果もあり、皆さんが主体的に取り組んでくれたことがしっかりと結果につながっていると感じました。一方で、「授業連絡を口頭だけでなく、Teamsにももって来てほしい」という改善の提案もいただきました。今後は、より確認しやすい形で授業を共有できるように、運用方法を見直ししていきます。皆さんの積極的な参加が授業の雰囲気をつくり、学び合いを深めてくれました。アンケートへの協力と、毎回の前向きな取り組みに感謝します。
14	基礎英語Ⅱ (SDA-横田)	横田 肇	基礎英語Ⅰに比べて、全般に学生からの評価は低かった。ほぼ内容と授業スタイルが同じで、例年のことなので不思議はないが、文法項目が多岐にわたり、受講生も多く、参加意欲の低い学生もいたのでやりづらい点が多々あった。今年度で退職なので、最後の担当であったが、ここしばらく授業運営に限界を感じることもあり、あらためて大変さを感じることが多かった。内容の検討、授業スタイル、評価等々、課題は山積であるが、後任の方には健康を期待する。
15	基礎英語Ⅱ (SDA-井坂)	井坂 肇	授業の理解度、満足度は概ね良好であった。今年度からテキストを変更し、演習の量を増やした。演習の授業なので、各学生の語学力に応じた対応を取れるようにした点も評価してもらった。一方、中間・期末テストの成果を確認すると、十分に理解できていないことが分かった。講義中に行った別のアンケートの結果を踏まえると、文法の理解と同時に自分の身の回りのことに対して発信する練習をする身に付くと感じた。次年度はこの部分に対してアプローチしたい。
16	英語入門Ⅰ (M)	岡島 徳昭	テストの際スマホを使用していた学生がいたという残念な意見があったので、より公平な試験実施に心掛けた。
17	英語入門Ⅰ (S)	横田 肇	この科目は少人数でこちらとしてはやりやすい面があったが、毎回、学生からの評価が低い傾向にあり、今回も同様であった。中に、テキストのレベルが低すぎるという指摘があったが、ではレベルを高くすればいいかと言えば、そう簡単ではない。これも指摘があったが、年齢的にそれと関連な話し方ができず、若い人は隠さないと。在職中、あと本科目のⅡ(私が担当する英語の最後)が残っているので、内容、進め方、説明方法等、多少なりとも改善に努めたい。
18	英語入門Ⅰ (D・A)	宮嶋 達也	アンケートでは、「ペアやグループで進める授業だったので理解度や進度に大きな差が出ず、安心して取り組めた」「英語の基礎力が身に付いた」「アクティビティが面白かった」など、活動を通して学びやすさを感じたという声が多く寄せられました。皆さんが協力しながら学ぶ姿勢を見せてくれたことで、教室全体的に良い雰囲気生まれていたと感じています。また、「最後に褒めてもらって嬉しかった」「暗記は大変だったけれど頑張れた」というコメントから、努力が成果につながり、達成感を得られた様子が伝わってきました。皆さんの積極的な参加が授業を支えてくれました。毎回の取り組みとアンケートへの協力に感謝します。
19	中国語入門Ⅰ	孫 暢	アンケートでは、グループワークやゲーム、留学生との交流活動について肯定的な意見が多く、楽しみながら中国語を学ぶ機会を提供できたと考え。一方、教科書の構成や文法説明について分かりにくい点を指摘する意見も見られた。今後は、説明方法や教材の補足を工夫するとともに、実際のコミュニケーション場面を意識した活動をさらに充実させ、理解度と学習意欲の向上につなげたい。
20	日本語Ⅰ	佐藤恵・高橋	アンケートの回答ありがとうございます。授業で学んだことが日本での生活の中で役立つと嬉しいですね。アンケートの結果は次回の授業に反映いたします。
21	日本語Ⅲ	佐藤恵・高橋	アンケートの回答ありがとうございます。授業で学んだことが日本での生活の中で役立つと嬉しいですね。アンケートの結果は次回の授業に反映いたします。
22	心理学	柳内 景太	授業改善アンケートへの協力、ありがとうございました。多くの学生が概ね内容を理解できており、楽しく学べたことが分かりました。一部の学生からは「途中での出入りやスマホの通知音などの注意をして欲しかった」「教室が狭く、集中しづらい環境だった」という意見がありました。今後は、授業中の受講態度に関する注意喚起をより丁寧に行い、学習に集中できる環境づくりに努めます。また、教室については担当者や相談し、可能であればより広い教室を使用できるように調整していきます。来年度は、今回いただいたご意見を活かし、より良い授業となるよう改善に努めます。
23	高齢者福祉	櫻井 美帆子	授業態度はもちろん、反応も良い学生ばかりでとても授業が進めやすかった事ににつきましてお礼申し上げます。法や制度が盛りだくさんで理解しづらい部分もあるかと思いますが、わからなくなった、忘れた点があれば、お声掛け下さい。
24	刑事司法と福祉	西野 克俊	授業の満足度については、満足できた以上が100%となっており、一定以上ご満足いただけたのかと思います。学習内容においては、これまで学習してきたものと大きく異なる分野でもあるため、理解しづらい部分もあったように見られます。少しでも理解につながる工夫を行い、今後も引き続き満足いただける授業展開をしたいと思ひます。
25	建築材料	小笠原 健	この「建築材料」の講義は、建築学科一年生では、数少ない専門科目の一つになります。今後、専門課程に向けて、建築の基礎的な用語や材料の特徴を理解することで、より専門的な建築士科への受講に役立つと見做されます。よって、板書中心で講義を行い、専門用語についてのノート作りを促していますので、板書量は多いとは思いますが、そのノートが今後の専門科目でも有効なものになります。当然に高校時代と違い、講義時間も90分と長く、内容も専門的であるため、予習復習無しに十分な理解はできません。大学で専門的な講義を受講する以上は、学ぶ姿勢も重要な要素になります。何のために大学に進学したのかを良く考えて、今後の大学生活の一助になることを期待しています。
26	建築構造力学Ⅰ	齊藤 透	多くの率直な意見をありがとうございました。最も多かった「スライドの切替が速く、解答を確認する時間がない」という指摘を重く受け止め、次年度は解説後に確認の時間を設け、答え合わせを終えてから次の進むよう改めます。後方まで声が届くようマイクの使用も検討します。また、試験後の授業実施については、シラバだけでなく、授業内でも事前に周知します。皆さんの意見を授業を良くする貴重な材料です。今後も遠慮なく声を寄せてください。
27	建築施工	小笠原 健	この「建築施工」の講義は、一級建築士5科目ならびに二級建築士4科目のうちの1科目となる施工分野に位置し、建築士試験および施工管理技士試験の主要科目である。特に一級建築施工管理技士補試験では、昨年度、18名が受験し16名が合格、合格率88.9%と高い合格実績を出しており、北海道新聞社による記事掲載もなされている。この講義による実績と効果は立証済みではあるが、今回の授業改善アンケートでも履修学生から高評価を得ている。
28	簿記論	岩立 顕一郎	簿記論では、簿記の基礎として、仕訳から決算における財務諸表の作成までの一連の流れを学びます。よって、一度でも休んでしまうと次の講義ではさらに新しい内容に進んでしまうため、必ず前回の資料に目を通し、自力で予習したり解答できるレベルになる必要があります。必ず次の講義では前回の小テストの解説を通して振り返りをしていますので、自己学習と組み合わせることが大切となります。他の講義も同じですが、特に簿記論は、自己によるタイムマネジメントをしっかり行っていることが大切です。
29	経営組織論	猪尾 紀幸	本年度から講義内容を復習しやすいように講義で映し出した資料をTeams内で配布し、各自ダウンロードすることも可として授業を進めました。定期試験問題そのものの資料の中から出題したため、資料をダウンロードして復習をきちんと行った学生がしっかりと得点を取っており、前年度よりも高得点者が増えておりました。反面、講義の中で試験問題の内容について説明していたにも関わらず資料やテキストの復習を怠り合格点に達しなかった学生も1割以上おりました。組織についての基礎知識は、就職社会人にももちろんであるが学生生活の中でも生きてくる知識であるためしっかりと学んでもらいたいです。
30	社会福祉の原理と政策Ⅱ	上原 正希	おおむね高い評価であったので、引き続き良い点は実施していただきたいと思っています。批判的なコメントは少なめに、たまにあるボランティアも楽しいようなので、引き続き実施していきたいです。ご回答ありがとうございました。
31	ソーシャルワークの理論と方法Ⅱ	櫻井 美帆子	授業態度や反応が良い学生が多く、授業が進めやすかった事ににつきましてお礼申し上げます。声が大きすぎたという意見がある一方、大きくて良いという意見もあるものの、この件につきましては今後の課題とします。
32	ソーシャルワークの理論と方法(専門)Ⅱ	大島 康雄	説明がわかりにくいところがあったようで、もう少し資料も含めて工夫をしていきたいと思っています。皆さんにとってこの科目はソーシャルワークとしての基礎になると思うので、今後もよいものにできるよう、努力いたします。
33	現代の精神保健の課題と支援Ⅰ	近藤・上原	多くの学生のみなさんにアンケートをお答えいただきありがとうございました。高校生の時よりもたくさん勉強した人はいないのではないのでしょうか。みなさんはやればできると思っています。3年生でまた会えるのを楽しみにしています。授業を聞いていただきありがとうございました。
34	精神保健福祉の原理Ⅱ	西野 克俊	授業の満足度については、満足できた以上が100%となっており、一定以上ご満足いただけたのかと思います。なるべく内容をかみ砕き丁寧な説明を心掛けているつもりではあるのですが、理解しづらい部分もあったように見られます。少しでも理解につながる工夫を行い、今後も引き続き満足いただける授業展開をしたいと思ひます。
35	保育者論	渡邊 亮宏	概ね満足してもらえた結果となっております。今後も学生の理解が深まるよう、授業づくりに努めてまいります。
36	肢体不自由者の心理・生理・病理	坂上 俊樹	受講者の全員が、授業内容に興味・関心を抱き、授業を理解してくれているという回答を受けて、とても安心しました。教育の現場に出てからも、今の気持ちで大事にして精進してくれることを願います。
37	病弱者の心理・生理・病理	千葉 聡美	学生にとって〇〇障害ではない病弱教育は幅が広くイメージがつかみにくい分野である。最近では難病の子どもを知ってもらう目的で保護者や本人が動画を投稿することが増えたため、馴染みのない難病を知ってもらう工夫としてyoutubeを活用した。言葉の説明よりも直接映像を見るとインパクトがあり全員よく見ていた。基本的な病弱教育の定義、主な疾病、どのような気持ちで関わっているのか、抱えている不安や困難さにも気づかせることができた。次の科目である教育の実践についてさらに深めていきたい。
38	精神保健福祉援助演習Ⅱ	上原・大島・西野	評価全体を見渡すと、「平均的」という感じだったのかなと思います。全体的な質をより高める努力をしていきたいと思っています。ご回答ありがとうございました。

2026年度 授業改善アンケート第2Q・前期「教員コメント(学生に対するフィードバック)」

No.	履修名	氏名	教員コメント
39	子どもの食と栄養	湯浅 頼佳	こちらとしては配慮しながら進めていたつもりだったが「アンケートの回答で「学生の理解度を確認しながら授業を進行していたか?」に対して何名かが「確認しながら進めていない」という回答を頂いたので、次回からはこの点にも十分配慮を加えながら行いたい。
40	病弱教育	千葉 聡美	病弱者の心理・生理・病理と病弱教育を同時に受講している学生が数名いて、講義の内容が被ったり前後する部分があり、やりにくかった。できれば同一クォーターでの展開は避けてほしい。病弱教育は小中高校に準ずる教育から最重度の重複障害まで多様であり、学校現場の動画も少ない。動画以外で少しでも現場の状況を理解させるための方法を今後検討していく。
41	社会思想史	後藤 啓倫	受講生の皆さん、授業大愛お疲れさまでした。アンケートの回答にご協力いただきありがとうございました。 思想という難解なテーマに関わらず感想や質問を投げてください。また授業中の急な問いかけにも真剣に考えてくださり、ありがとうございました。 今回皆さんからいただいた貴重なご意見を、今後の授業に生かしてまいります。
42	建築計画Ⅱ	安藤 淳一	建築を取り巻く社会状況も年々変化しています。特に乳幼児施設、学校、医療施設、高齢者施設のような公共施設は時代の速い動きとともに、建築にも変化が求められます。そのような動きに対し、建築はどうあらねばならないかを考えるための情報を示すこともこの授業の使命だと考えています。そのためにも情報量が多くなることは避けられない状況です。かなり情報を取捨選択しPPを作成していますが、ご指摘いただいたことも考慮し、伝えたい情報が欠落しないように、精査しながら修正しながら進めさせていただきます。
43	建築法規Ⅱ	佐藤 善太郎	建築法規Ⅱはより専門的な内容で、継続して聞かないとその日の授業だけでは理解しづらい内容だったかもしれませんが、法規Ⅲ・Ⅳと徐々にそのような条文が増えていきますのでよろしくお願いします。理解しづらいところは、訊いてください。
44	鉄筋コンクリート構造	長森 正	授業アンケートにご協力いただき、ありがとうございました。自由記述欄には、「教科書の内容は分かりやすいが、簡潔にまとめられているため、各章で配布された資料がとて役に立った」とのご意見をいただきました。 授業では、配布資料の充実を図るとともに、演習問題についても丁寧な解説を心掛けてながら進めてきました。その結果、理解度・満足度ともに100%という高い評価をいただくことができました。 今後も、パワーポイント資料や配布資料の内容をさらに改善し、より分かりやすく理解しやすい授業の実施に努めてまいります。
45	職業指導(M)	岩立 顕一郎	職業指導は、就職のみをゴールとせず、人生を通して自分がどうなりたいたいのかを考える基礎的な姿勢や思考を学ぶことを大切にしています。そのため、自己理解と社会(職業)理解の両面からアプローチをしています。これらの学びは、あらゆる科目の基礎になるものです。特にゼミやビジネスリサーチ等に学びを活かすことができると考えていますので、参考にしてください。
46	建築概算	佐々木 哲之	アンケート結果は概ね満足できる結果であった。建築工事種別ごとに説明し、問題を解説する方法を取っている。そのため、学生の理解度を確認しながら授業展開をしていくので年度により単元の進度が変わることがある。設問において「あまりそう思わない」が14%おり、時間配分を含めもう一度検討したい。
47	マーケティング論	高野 寛未	丁寧なフィードバックをありがとうございます。身近な企業事例や毎回実施した小テストが、皆さんの理解や復習に役立ったようで大変嬉しく思います。また、スライド画像の文字が見えにくかった点、テスト解説に関するご要望など、貴重な改善の機会をいただき感謝します。皆さんの学びやすさをより高められるよう、回回の授業改善に繋げていきたいと思ひます。
48	スポーツ社会学	戸佐 晃一	各項目に対して高い評価をもらうことができた内容については今後も継続するとともに、今回以上に内容を見直していきたいと思ひます。また、あまり良く理解できなかった、あまり適切ではなかった回答が数パーセントあったので今後、検討をしていきたいと思ひます。
49	スポーツ心理学	佐藤 和裕	スポーツにおける心理学の基礎理論と実践的应用について理解してもらうことを意識しながら、丁寧にわかりやすい説明を心掛けたい。今後は、事例の選択に留意し、よりスポーツ心理学が身近なものとして感じられるような授業を指向していきたいと思ひます。
50	経営情報論	薦田 勇智	このたびは授業評価アンケートにご協力いただき、ありがとうございました。皆さんからいただいたご意見を拝見し、理解しやすかった点や改善が必要な点を改めて確認することができました。特に、実践的な事例や演習を評価していただいた一方で、一部の内容については説明や進行速度に改善の余地があると感じています。今後はより分かりやすく、学びを深められる授業となるよう工夫を重ねてまいります。貴重なご意見に感謝いたします。
51	ミロ経済学	河野 善文	授業中の演習問題については、必ず次回授業で解説をおこなっています。また、特に重要なトピックについては、練習問題を繰り返し実施しています。しっかりと授業を聞いている人にとっては、先を急ぎたいときもあるかもしれませんが、復習だと思って今後ともぜひ熱心に演習に取り組んでもらえればと思っています。
52	マロ経済学	河野 善文	ホワイトボードへの板書の件で、「文字が薄くて見づらい時があった」との意見がありました。マーカーのインクの問題なののですが、なるべく頻繁にインク交換をするようにしたいと思ひます。
53	まちづくり論	松本 颯	「話し方」板書や「パワポの字・表現」「理解度を確認しながらの授業」など4項目において、「あまり適切ではなかった」との回答が実に20～27%。授業の進め方全体を改めて見直したいと思ひました。自由記述欄では、「解りやすかった」「各地の事例が参考になった」等の声がある一方、「テストレビュー」「資料のどこを説明しているのか分からなかった」との意見も。ガイダンス時の説明や授業時のきめ細かな確認作業に、更に注力したいと思ひます。
54	スポーツ文化論	細川 光法	アンケートの回答ありがとうございます。概ね理解してくれたようで、ほっとしています。足音や板書の音が大きいことで驚かれた方もいるようですが、なるべく気をつけたいと思っています。また授業中には事象を理解する上での基礎的な知識も得てもらうため、より根本的な話もします。それが関係のない雑談に聞こえたのなら、授業の展開の仕方とも吟味していただければと思います。 これからもできるだけ分かりやすい授業を行っていきます。
55	体づくり運動	是枝 亮	体づくり運動では、様々な運動を通して体を動かす楽しさを感じてもらうことが大切です。さらに自分自身の体の状態や動きの癖についても知ることもできたと思ひます。本授業で学んだことを先の人生に活かしていただきたいと思います。
56	学校保健	天野 雅斗	学校保健の内容に関して、心肺蘇生法や応急処置方法を体験する機会を設けるなどして受講生全員が理解を深めることが出来た。他の領域に関しても受講生が体験できるような仕組み(ケーススタディなど)を今後作っていく。
57	生理学	黒川 泰任	今や医学といえれば再生医学や不老不死の獲得など、ヒトとしての生命の延長への可能性に注目が集められています。 ノーベル賞の1部門として20世紀の初年第1回から医学・生理学賞があるように、かつて生理学は医学の形態でした。この生理学はphysiologyといつてギリシア語からの「自然・本性」という意味ですが、人間の人間たる仕組みが次々と明らかになっていく、まさしく目の覚めるような現象の時代があったのです。 今の時代にも正常な構造、機能を知ることは重要な基本的要素です。皆さんが自身の運動をとなし、また指導者として運動を指導する。 生理学を学んだことを宝とし、正統の機能を知ることそれわれわれヒトに与えられた重要な権利と義務であることを思い出してください。引き続き精進し、勉学できる大学生生活に感謝下さい。
58	衛生学及び公衆衛生学	宮崎 剛司	授業全体について高い評価をいただきました。今後も、公衆衛生に関する知識を日常生活や社会の課題と関連づけて説明し、学生が興味・関心を持ちながら学べる授業を継続します。また、授業中の問いかけや振り返りを取り入れ、学生の理解度を確認しながら進めるとともに、資料や説明内容を随時見直し、より分かりやすく実践的な授業となるよう改善に努めます。
59	造形論	浩 勉	アンケートにご回答ありがとうございます。造形については基本中の基本の考え方から、制作に臨む姿勢、技術面、歴史、その他教える範囲は大きすぎます。ですが、そこを絞りに絞って選びました。この大学はファインアートだけではなく、イラストレーションや漫画、グラフィックやプロダクトなど広い学びができます。それぞれの学びの途上にある学生がこの科目を受講します。ですので、造形に関する基本中の基本の考え方や臨む姿勢、素養などを重点的に組み込みます。多くの学生が「新たな学びを得た」り、「忘れかけていた初心を取り戻した」り、「為になつた」旨答えてくれました。また、座学やビデオ機器を多用した昨年度、視聴中に眠くなる学生が中にいたようでした。それを気にする学生がおり、「眠っている学生を注意して」アンケート回答がありました。ですが、暗くした教室で教師も共に画面を見ている状態に於いて、一人一人の顔を常に確認するというのは困難を極めます。ですので、今年度ではそれを反映させ、ガラリと授業形態を変えました。デイスカッションや個人の作業を増やし、パワーポイントのほか、実際の作品や自然物を教材として持参しました。飽きか来ないよう、メリハリを持たせました。これは毎年ずっと全授業で行なっていることが、常に机間指導をし時間の許す限り一人一人と向き合うよう努めました。「こういう作業は大好きです!」と直に言ってくる学生もおり、多くの学生が満足してくれたので、ほんとと胸を撫で下しました。
60	建築設備	君 興治	建築を計画、施工するにあたり、設備は重要な部分です。実際に建築のどの業種に関わっていても知識的に知っておかなければならない事なので、詳しくなくていいので、設備全般を理解してほしいと考えます。
61	公共マネジメント論	山本 一彦	全般的な授業理解度は概ね良好であったが、数パーセントの受講者が理解できなかった答えであり、今後の課題である。1名ではあったが、自由記述で授業の趣旨がよく分からないと答えしており、次回授業での科目概要説明をより徹底して行いたい。
62	アントレプレナーシップⅢ	猪尾 紀幸	本年度の履修者が作成した創業計画書は、例年のものより高評価を得るものが多くあった。3年次までに学習してきた企業経営の知識や普段の生活の中から得た気づきを元にビジネスアイデアを練り、創業計画書を作り上げてくれたと評価している。講義では実際に私が実務で経験して得てきた融資申込時に金融機関に審査されるポイントやどのような質問をされるかなどを説明し、実際に起業する可能性も踏まえ講義を進めた。次年度以降も創業計画書の作成を通して企業経営知識の復習、総まとめをしつつ、就職や起業する際に活かせる知識や心構えを伝えていきたいと思ひます。
63	ICTスキル演習Ⅱ	由水 伸	授業内容や教材、操作方法について一定の評価を得ることができた一方、授業の進行速度や説明の分かりやすさについて改善を求める意見もありました。これらの意見を真摯に受け止め、今後は学生の理解度を確認しながら、操作手順を一つずつ丁寧に説明し、演習と確認の時間を十分に確保するなど、授業の進め方を改善していきます。学生がICTスキルを効果的に身につけ、実践的に活用できる授業となるよう、引き続き授業内容の充実にも努めます。
64	デザインプランニング	堤 美穂子	座学が眠くなる、という意見があったこと、グループ分けを先にしたらどうかという意見があり、大いに参考にしたい。授業の内容に興味を持たせるにはどうしたらいいか、引き続き、考え、努力、改善していきたいと思ひう。
65	教育史	西崎 毅	「授業満足度」は、「満足した」以上が97%、「理解度の確認」「教材の適切さ」「熟意」は、「そう思う」以上が100%でした。「この授業を受けることができて良かったことは、自分の意見や考え、まとめ、共有し、学生の前で発表する力をつけることができた事です。」「教育史について自分の考えをまとめた後に、先生の解説があることで、自分の考えを問うし合わせながら学ぶことができたので楽しかったです。」「自分で色んな意見や考えを述べて、理解を深めていく授業方法が良かったです。」「面白くて、知識がある程度スルッと入ってきました。」「歴史について詳しくないが、自分の意見や思ったことを書いて共有して正解を知る形の授業で、わかりやすく学ぶことができた。」「グループで意見を交流することで、自分自身の見解や考え方が変わり、広がった。」「手前に立つことで緊張はするけど、自分の意見を要約しながら、分かりやすく伝えるのは難しいことがわかった。」「教員になる時の景色だと思ひながら、発表することが大切なんだと感じた。」「人前で話すことが多い授業で、人前で話すのが苦手だけど少しは克服できたと思ひた。」「楽しい意味のある授業ができて内容をしっかりと理解することができました。」「他の授業にはない自分の考えを述べる場があったことでとても楽しく受けました。」「自分たちで考えさせて意見を交流する時間があることで理解することができたのでやり方が良かったです。」「先生の授業は発表や1人で考える時間がとても多いからすごくためになる!」等の評価を励みに一層の改善に努めます。
66	工業科教育法Ⅱ	横山 哲也	学生の理解度の把握に努める。
67	特別活動の指導法	我妻 裕裕	特別活動の広範な指導内容は、関係法規に基づいた目標や目的、実施内容などとともに、根拠にある育成すべき能力についての理解が重要となる。講義題材の厳選、資料やスライドなどの作成、活用方法に、より一層の工夫・改善を進め指導にあたる。新型コロナウイルス感染症対策のため、中学校・高校では様々な活動に制限が設けられたことを踏まえ、特別活動に関する発問等のやりとり、理解度の確認に十分な時間を確保し、学生との対話を含め、講義の理解度を高める展開に注力する。
68	教育方法論	藤根 収	学生の皆さんの授業内容の理解や学びを深めていくために「わくわくタイム」や「ロールプレイ」などを授業に取り入れて実施しました。学生の皆さんから概ね高い評価をもらいましたので、主体的な学びにつなげたと思われたいことから嬉しく思います。今後とも授業の工夫改善に努めてまいります。
69	教育相談(カウンセリングを含む。)	蝦名 美穂	授業内容については、概ね学生から肯定的な評価を得ることができた。一方で、ワークシートを活用して学生の意見を収集したものの、その内容の共有やフィードバックが十分ではなかったため、次年度は学生の意見を授業改善に効果的に反映できるよう、共有とフィードバックの方法について検討したい。
70	教育とICT活用	由水 伸	授業内容やICT機器の活用、グループワーク等について、肯定的な評価を得ることができました。特に、ICTを活用した学習活動や他学科との協働を通して、教育におけるICT活用について理解を深める機会となったことを評価しています。一方、協働課題の提出期間について、もう少し余裕がほしいとの意見もありました。今後は課題の内容や学習負担を考慮しながら適切な実施期間を設定し、より充実した学習機会を提供できるよう、授業内容のさらなる改善・充実に努めます。

<前期>

No.	履修名	氏名	教員コメント
71	情報基礎演習Ⅰ(M-A)	薦田・佐藤雅	このたびは授業評価アンケートにご協力いただき、ありがとうございました。本授業では、WordやPowerPointの基本的な操作から実践的な活用方法まで学ぶことを目標として進めてきました。いただいたご意見を参考にしながら、説明の分かりやすさや演習時間の配分について改善を図ってまいります。今後も皆さんが情報機器を活用する力を身に付けられるよう、より理解しやすく実践的な授業づくりに努めてまいります。貴重なご意見をありがとうございました。
72	情報基礎演習Ⅰ(S)	宮崎・薦田	このたびは授業評価アンケートにご協力いただき、ありがとうございました。本授業では、WordやPowerPointの基本的な操作から実践的な活用方法まで学ぶことを目標として進めてきました。いただいたご意見を参考にしながら、説明の分かりやすさや演習時間の配分について改善を図ってまいります。今後も皆さんが情報機器を活用する力を身に付けられるよう、より理解しやすく実践的な授業づくりに努めてまいります。貴重なご意見をありがとうございました。

2026年度 授業改善アンケート第2Q・前期「教員コメント(学生に対するフィードバック)」

No.	履修名	氏名	教員コメント
73	情報基礎演習Ⅰ(D)	薦田・佐藤雅	このたびは授業評価アンケートにご協力いただき、ありがとうございます。本授業では、WordやPowerPointの基本的な操作から実践的な活用方法まで学ぶことを目標として進めてきました。いただいたご意見を参考にしながら、説明の分かりやすさや演習時間の配分について改善を図ってまいります。今後も皆さんが情報機器を活用する力を身に付けられるよう、より理解しやすく実践的な授業づくりに努めてまいります。貴重なご意見をありがとうございます。
74	情報基礎演習Ⅰ(A)	薦田・佐藤雅・伊藤	このたびは授業評価アンケートにご協力いただき、ありがとうございます。本授業では、WordやPowerPointの基本的な操作から実践的な活用方法まで学ぶことを目標として進めてきました。いただいたご意見を参考にしながら、説明の分かりやすさや演習時間の配分について改善を図ってまいります。今後も皆さんが情報機器を活用する力を身に付けられるよう、より理解しやすく実践的な授業づくりに努めてまいります。貴重なご意見をありがとうございます。
75	情報基礎演習Ⅰ(M-B)	薦田・佐藤雅	このたびは授業評価アンケートにご協力いただき、ありがとうございます。本授業では、WordやPowerPointの基本的な操作から実践的な活用方法まで学ぶことを目標として進めてきました。いただいたご意見を参考にしながら、説明の分かりやすさや演習時間の配分について改善を図ってまいります。今後も皆さんが情報機器を活用する力を身に付けられるよう、より理解しやすく実践的な授業づくりに努めてまいります。貴重なご意見をありがとうございます。
76	情報基礎演習Ⅰ(M-C)	薦田・佐藤雅	このたびは授業評価アンケートにご協力いただき、ありがとうございます。本授業では、WordやPowerPointの基本的な操作から実践的な活用方法まで学ぶことを目標として進めてきました。いただいたご意見を参考にしながら、説明の分かりやすさや演習時間の配分について改善を図ってまいります。今後も皆さんが情報機器を活用する力を身に付けられるよう、より理解しやすく実践的な授業づくりに努めてまいります。貴重なご意見をありがとうございます。
77	スポーツ総合(S-A)	三嶋・岡田・石井	引続き全体としてスポーツを楽しむ授業づくりを目指したい。
78	スポーツ総合(S-B)	三嶋・岡田・石井	例年協力的に授業参加しているが、今年は特に積極的姿勢がみられた。学生がよりスポーツを身近に楽しめる授業づくりを目指したい。
79	スポーツ総合(DA-M)	三嶋・岡田・石井	体育館の蒸し暑い中で授業は辛かったと思われます。今後は、扇風機等活用して暑さ対策をしていきたいと考えます。授業に關しては普段体を動かさない運動が苦手な学生を考慮しておりますが、運動能力の高い学生には物足りなかったと思うので、次回からはグループ分け等で両者が楽しく活動できるよう対応していきたいと考えます。
80	スポーツ総合(DA-W)	三嶋・岡田・石井	授業を通して、スポーツが得意な学生だけでなく、スポーツに苦手意識のある学生にも楽しみながらスポーツの良さを理解してもらうことができたと感じました。また、スポーツが得意な学生が物足りなさを感じている。今回のアンケートでいただいた意見を参考に、より多くの学生が満足できるような授業をおこなってみたいと思います。
81	平面構成Ⅰ	北嶋 洋一	絵を描くこと、デザインすることの違いが伝わらない学生があり、その解消が今後の課題となる。課題の内容や進度のチェックについては、昨年より良好に進められたと感じている。課題の意図を伝えるためには、個別指導を重ねるしかないの、その努力は続けていくことしたい。オンラインでの希望も上がったが、今後の通信課程設置をにらみ、ある程度のシームレス化を進めていきたい。
82	デザインⅠ(D-M)	橘 春香	みなさんがデザインというものを楽しんでいた様子アンケートから伺えました。特にこの授業への興味関心が高かったことが、授業を行った方としては嬉しく感じます。十分満足できなかった人が少数とは言え居たので、どのような点で満足できないのかコミュニケーションをとりながら学生の力に合わせて課題やゴール設定を臨機応変に変更してゆくことも必要があると思いました。
83	デザインⅠ(D-W)	橘 春香	みなさんがそれぞれ成長を実感できた様子アンケートから感じられ、とても良かったと思いました。初めてデザインをする方もたくさんいたので、未経験から来る恐怖心やちょっとしたつまづきからデザインに苦手意識を持たないよう、絵の楽しさを伝えることができたのではないかと思います。これからみなさんのさらなる成長が楽しみです。
84	デザインⅢ	山本 真紀	この授業を通して、デザインの基礎や多様な面材・モチーフを取り組むことの楽しさを感じてもらえたことを嬉しく思います。また、個別指導や学生同士の講師についても肯定的な意見が多く、今後も継続してきたいと考えています。一方、講師時に改善点より具体的な点に伝えたいとの意見もありました。今後は作品の良い点を評価するだけでなく、次の制作につながる課題や改善方法についても、より具体的に伝えられるよう授業内容を工夫していきます。ありがとうございます。
85	基本製図	向井 正伸	アンケートへのご回答ありがとうございます。概ね良好な評価をいただいたものと受け止めております。製図の基礎を着実に身につけていただけよう、引き続き分かりやすい指導を心がけ、今後も授業改善に取り組んでまいります。
86	キャリアデザイン(S-D・A)	山本 一彦	全般的授業理解度は概ね良好と思われる。ただ、自由記述欄では「よく理解できた一分からない」と相反する記述があり、一部とはいえない分かれ」と受け止める受講者の出ないよう授業展開の工夫を心がけたい。なお、多数の授業でもあり、今後も受講環境の維持に努めたい。
87	キャリアデザイン(M)	山本 一彦	授業内容の理解度については全般的に良好だったが、一部に理解できなかったという回答があり、今後の課題である。ホワイトボードでの板書で心配される「文字が薄くて読みにくい」ような指摘があり、マーカーの耐用時間などに注意しながら授業を展開したい。なお、大人数授業でもあり、受講環境の維持には更に工夫を加えたい。
88	キャリア支援演習Ⅱ(M)	井坂・石山	授業の満足度、授業の理解度共に学生からは高い評価を得ることが出来ました。「2年生から就活や社会人」に向けての内容が多かったのとインターンシップ関係の内容が多かったのでもためになりました。と学生コメントがあったように、大生生の早い段階で進路に対しての知識を得られること、SPI検査などを受けられる利点がありました。一方、興味の無い講義等では学生の集中力が落ちていました。ワークシート等を用いた際にグループ間で取組みの差があった点も改善の余地がありました。就活に対して前向きな気持ちになるような講義が多いため、一方で就活が選んでしまった場合苦勞するといった話ももっと広げたい方が良いかもしれません。
89	キャリア支援演習Ⅱ(S)	蛭名 美穂	グループワークにおけるメンバー構成や内容については、より効果的な学習機会となるよう、次年度以降に検討したい。また、評価方法については、特に欠取の取扱いに關して、初回授業時により丁寧な説明を行いたい。
90	キャリア支援演習Ⅱ(D)	竹内 美帆	本授業を通して、今後のキャリアに必要となる知識を学ぶことができた。企業やさまざまな職種の方の話を聞くことで、自分自身の将来について具体的に考えることができたという意見をいただきました。また、グループワークを通して学びを深めることができたという意見がある一方、授業への参加姿勢やグループ構成、授業運営等についてのご意見、ご要望もいただきました。今回いただいた意見を関係部署とも共有し、今後の授業運営や学習環境の改善に活かしていきたいと思います。引き続き、自身のキャリアについて考え、今後の学びや進路選択につなげられるサポートをしていきます。
91	キャリア支援演習Ⅱ(A)	伊藤 裕康	学科別授業は建設業界の企業の方のお話のため、学生も興味を持ってくださいましたが、それ以外についてはあまり高い評価をもらえませんでした。マイナビやキャリアスなど、就職情報サイトの運営会社の方には、大学2年生生より理解していただく方がより内容をセレクトしてお話していただく。全学科関係のため、特定の業界に限らないお話をいただくことや、業界や仕事に興味を持ってもらうためにゲームを取り入れた内容も、時間割で行うことと疑問を持った学生がいたようです。建設業界の場合は、建設業界に進むと決めている割合が高いため、進み進路をのより決めていくと良いかという内容は必要と感ずる学生が多かった点もありません。より必要性を感じる内容となるように検討していきます。
92	ソーシャルワーク演習(専門)Ⅰ	杉本・櫻井・上原	3名で担当をしているので、それぞれの教員で多少の進み具合は異なると思います。修正すべき点としては、意見でもあったように、OSCE実施に当たり、事前に面接練習などをより行うことが必要と感じました。修正できる点はしてきたいと思っています。ご回答いただき、ありがとうございます。
93	ソーシャルワーク演習(専門)Ⅲ	杉本・櫻井	1年生から行っていた演習の総まとめの演習ということで、4年間机上や実習で積み重ねた知識はもちろん、卒業以外の人生経験をも活かしながら活発な意見交換が展開され、さすが4年生！と感動しました。
94	ソーシャルワーク実習指導Ⅱ	櫻井・杉本・大島	実習の時期に関する課題をお知らせいただきありがとうございます。なるべく、夏休み中に実習の機会を提供できるように実習先との関係も深めていきたいです。また、評価としては全体的に低い傾向だと思えますので各教員が学生の満足度をあげ、実践や実習に活かせる授業を展開していきたいと考えています。
95	特別支援教育実習(事前指導Ⅹ4年)	木村・千葉	当初から5名という少人数でのスタートとなり、特別支援学校での教育実習に備え、実習予定の障害種、学校種別に応じ、模擬授業をさせた。3回にわたり授業づくりについて講義をしたが、なかなか現実の支援学校の生徒をイメージするこは難く、理解が追いついていないようだった。しかし実習で行った学生は必要を感じた。授業で何らかの視点や個別の配慮への気づきが変わり、模擬授業の質が大きく変化している。やはり体験、経験に勝るものはないという結果だが、実習前にイメージを作れるような動画などの活用も検討したい。
96	立体構成Ⅰ	梅田 力	設問10「この授業全体としてどの程度満足できたか」という質問に対して、96%が満足と回答した(大変満足41%、十分満足26%、満足29%)結果を見ると、概ね授業内容は良かったのではないかと思う。自由記述では、授業内容の対してはTeamsに共有して欲しかったとの声があったので、検討していきたい。
97	イラストレーション基礎Ⅰ	佐藤 正人	1年生で初めてイラストレーションに触れる生徒もいたかとは思いますが、大半が授業に興味を持ち楽しみなながらも受け良かったとの印象を持ってくれた生徒が多く授業内容も次年度にも取り入れていきたいと思う。生徒一人一人に対して個性を活かしながらアドバイスと表現で活かせるようなアドバイスも来たが、その点でも良いと思ってくれている生徒もいるようなので、これからの学生に対しての向き合い方もそれぞれのスキルや個性を活かしたアドバイスを心がけて取り組みたいと思います。多くの学生が満足していく授業と感じてもらえたのは良かったので、次年度以降も参考に工夫していきたいと思う。
98	工芸実習Ⅰ	中島義・梅田力・三上	授業内容への興味・関心や理解度、満足度について高い評価を得ることができた。自由記述では、普段触れる機会の少ない専門的な技法や多様な表現方法を体験できたこと、実際に作品を制作する楽しさを実感できたことが評価された。本科目は限られた期間の中で複数の分野を体験しながら基礎的な技法を学ぶ実習科目である。今後、ものづくりの楽しさと専門的な学びを両立し、今後の制作活動や表現の幅を広げる機会となるよう授業の充実に努めていきたい。
99	グラフィックデザインⅠ	堤 美穂子	私的な意見を押し付けるといった印象をもつ人もいたようだが、教員がクライアント役もしくはディレクター役であり、クライアントやディレクターの意向に沿うデザインを作成しなければならない、または意向にあわらず、自分はこう思うから、その要件をクリアしていくこともいいと判断した。というように説得できるような説明がないといけない、という課題の主旨を(何度も説明しているのだが)理解していない学生が、そういった意見をもったということになる。この課題ごとに毎回何度も説明と板書をしながら出題する必要があることがわかった。授業の時間をもっと作業時間にあててほしい、という意見はどうかと思うが、シラバスの記載を工夫する必要がある。授業で何らかの人の発表と教員のアドバイスを重要で、これをしっかりと見て自分の制作に反映せしめて、参考にしたことと大きな成長があると説明しているのだが、学生の中にも他の人での作業をする必要を要する人も多い。シラバスにしっかりと時間外で課題に取り組む必要があることと、授業ではビジュアルデザインが主体であることと、説明を詳細に書き入れ、承知のうえで授業に参加してもらえないようにしたい。習得者が今回は多くいて、対応に苦戦した。とくに課題の意味が理解できない留学生在が何人かいて、一人ひとり説明に時間を多くとらなければならないことがあった。中国人留学生のAの使い方も難しく、どこまでAで作成していいかはルールをつくり、授業の最初に時間とって説明したい。遅刻については、さすがに終了後6分前を出席にはななかったが、そういう印象を与えたのはよくなかったと思うので、ある程度遅く(すべきだと反省する。また、絵作りや造形のあるふれるような才能は見てとれるが、デザインの授業についていけず、課題の意味も理解できないといった学生がいて、この場合も留学生と同様に苦戦した。シラバスでの対応や、初回授業のときの説明で、実践的な楽しい授業であることを理解してもらい、それでも授業が理解できない学生にはどんな対応をすべきか、今後、ずっと考え、工夫を重ねていきたいと思う。
100	プロダクトデザインⅠ	林 春生	概ね満足して頂けたようで、良かった。ものづくりの思考方法をもっと分かり易く、学生間のアイデアがもっと簡単に閲覧出来るような環境を目指して改善していきたい。
101	プロダクトデザインⅢ	林 春生	概ね、学生に取って不満の無い授業が出来たようで、安堵している。実技(モックアップ作成)を入れたのが良かったようだ。今後ももっと改善できるポイントを探して改善する。
102	漫画Ⅰ	三上 いずみ	アンケート結果では、授業内容への興味・関心や理解度、満足度について高い評価を得ることができた。自由記述では、漫画をこれから学べたことや、発表を通して他者の作品から学べたこと、グループワークと個人制作のバランスが良かったことが評価された。なお、デジタル制作に関する要望もあったが、本科目ではネームやコマ割りなど漫画表現の基礎技術の習得を重視している。デジタル制作については漫画Ⅱで扱い、段階的な学習につなげていきたい。
103	ビジュアルデザインⅠ	田中 靖之	『今年度のビジュアルデザインⅠの演習課題は「客観的な思考」を深めることに主眼を置いています。特に最終課題は限られた人生経験の中でも「個性的な企画力」を楽しく取り組めるように、個別指導を心がけました。学生諸氏は概ね「個性的かつ創造的に実践された」と高く評価しています。ビジュアル表現のA利用は肯定し、入力言語の重要性を伝えました。』
104	イラストレーションⅠ	浩而 勉勵	アンケートにご回答いただき有り難う存じます。回答率100%で、全員が全員満足だった、有意義だった、為になつたと絶賛してくれ、一生懸命やっていた甲斐があったというものです。「イラストレーション」という言葉は誤解されがちです。イラストレーションの語源から始まり、様々な観点から満遍なく授業を組みました。毎時間講義があり、その内容に即した課題に取り組む、そして翌週は全員の課題の講評会から始まり、講義、課題…この流れで来ます。最後には、実際の依頼者から依頼を受けた設定で最終課題に取り組まします。今回の授業の成功は、学生たちにあります。教師一人での授業の成功はあり得ません。なぜなら授業は生き物だからです。教師と学生たちがその場で授業を作り上げていくのです。受講者の皆さんはよくついてきてくれました。素直に様々なことを吸収してくれました。私もいっぱい学ばせていただきました。有難う存じます。
105	イラストレーションⅢ	佐藤 正人	アンケートの結果では多くの学生が興味を持って取り組んでいた結果が出て、良かったと思う。最近ではイラストもデジタルで作業する学生も増えているが、課題の中でアナログイラストの描法などを取り入れる事で面白かったり新鮮だったり興味を持ってもらえているので時代に流されずアナログの面白さも授業の中で伝えていきたい。デジタルに活用できることとあるでしょう。3年ととなれば授業に慣れて集中力が欠ける場面も見受けられたので、より集中出来る環境作りにも心がけたいと思います。授業で習ったことをこれからの学生生活にも役立ててもらうことを望みます。
106	映像表現Ⅰ	北嶋 洋一	普段は得る機会のない映像作品を観ることに、前期は主眼を置いた内容なので、手を動かしたい学生にとっては満足のいかない授業だったと思われる。但し、昨年のアンケートでもあったが簡易的な授業を増やして欲しいとの要望もあるの、そのバランスについては今後の試行錯誤が必要。受講生の様子を見ながらのシラバス修正も柔軟に行っていきたいと思う。欠席者やオンライン希望者のため、映像の配信は困難なので、PDFでの配布物をもっと工夫する必要があると感じている。
107	彫刻Ⅰ	梅田 力	82%の学生がアンケートに回答(単位不認定者も含む)。設問10 この授業は全体的にどの程度満足していますか? に対しては100%の学生が満足以上の回答であった(とても満足64%、充分満足29%、満足7%) 今回、数年ぶりに彩色することを勧めたが、また初めて形を活かすだけでなく、自由に色彩をしてみてもいいか、楽しんでやってみていただけた。次年度からも続けてみたい。必須ではないが、発色等を考えると下地材が良かったので、次年度は用意したい。

2026年度 授業改善アンケート第2Q・前期「教員コメント(学生に対するフィードバック)」

No.	履修名	氏名	教員コメント
108	漫画Ⅲ	五十嵐・鴨	全体を通して概ね良好な回答であり、自由記述の感想もほとんどが好意的で、ある程度有意義な授業を実施できたのではないかと感じています。熱心に課題を進め、積極的に質問や相談をしてくる学生も多く充実した授業となりました。資料配布についての回答で「適切だった」が若干多かったため、資料内容や配布方法の見直しを行います。
109	彫刻Ⅲ	梅田 力	92.9%の学生がアンケートに回答(単位不認定者も含む)。設問 10 この授業は全体的にどの程度満足していますか？ に対しては100%の学生が満足以上の回答であった(とても満足62%、充分満足23%、満足15%) 今年度は最終課題の内容は変えず、使用する素材だけ変更した(段ボールから石膏へ変更)、自由記述にもあるとおり、新しい素材に触れることに対しては、概ね好評であったので次年度以降も続けていきたい。
110	建築設計演習Ⅰ	君・野村	「初めて具体的な設計を実践できてよかった」といった意見があったことを嬉しく思います。建築設計の基礎を学び、実際に自分の考えを図面などで表現する経験を通して、設計の面白さを感じてもらえたことは大きな成果だと思います。一方で、設計上の注意点や提出物について、より明確な説明を求める意見もありました。今後は説明や資料をさらに工夫し、より理解しやすく充実した授業を目指します。
111	住宅設計演習Ⅰ	君 興治	初めての設計なので、間違っていないと完成する事を目標に頑張っていました。完成してから見えてくるものが重要なので、設計課題が終了した後も自分の作品を見直して、次回はこう検討してみよう、就職時のポートフォリオのために改善しようと考えてみてください。後期の設計演習Ⅱも頑張ってください。
112	建築設計演習Ⅲ	野村 和也	即日設計を通して、限られた時間の中でコンセプトを考え、形や図面にまとめる力や、時間配分・集中力を身につけてもらえたことを嬉しく思います。今後も講義と演習を効果的に組み合わせ、設計の難しだけでなく、考えたことを形にする楽しさを実感できる授業を目指し、改善していきます。
113	図学	赤木 良子	アンケートへのご協力ありがとうございました。全員の方から「理解できた」「満足できた」との回答をいただき、嬉しく思っています。一方で、アクソメや一点透視図法の資料をTeamsにも上げてほしいとの指摘をいただきました。次年度は作図法を扱う全ての回で、寸法や手順を書き込んだ資料を授業前に掲載します。バロククの解説が不十分だった点も、補足資料としてまとめ直します。半年間ありがとうございました。
114	図学(建築図学を含む)	赤木 良子	ご協力いただき、ありがとうございました。8割を超える方に高い満足を感じていただけたことを嬉しく思っています。「道具を使う練習になった」とのご意見の通り、この実技の時間は次年度も大切にしています。一方で、理解度の確認が不十分との声もいただきました。次年度は作図の要所ごとに全体で進捗を確認する時間を設け、手順を図で示した資料も整備します。半年間、お疲れさまでした。
115	建築表現Ⅰ	安藤・君	陰影や色の使い方など、美術学部建築学科として必要な授業内容です。これから建物をデザインしていく中で楽しみながら慣れていきましょう。
116	一級対策製図Ⅰ	野村 和也	一級建築士試験の製図対策として、過去に実際に試験で使われた演習課題を用いてエスキスや図面作成の基礎を理解し、不明点をその場で解決できるように心掛けてました。限られた授業時間の中で、もう少し演習や質疑の時間を確保してほしいとの意見もありましたので、今後は時間配分を工夫し、より建築士試験の製図への理解が深まる授業を目指し、引き続き改善していきます。
117	二級対策製図Ⅰ	佐藤善・向井	アンケートへのご回答ありがとうございました。いただいたご意見も参考にしながら、資格取得に向けて着実に力を身につけられるよう、引き続き分かりやすい授業を心がけ、授業改善に取り組んでまいります。
118	CAD演習Ⅱ	向井・野村	アンケートへのご回答ありがとうございました。いただいたご意見も参考にしながら、学生の皆さんが答案に力を身につけられるよう、引き続き分かりやすい授業を心がけ、授業改善に取り組んでまいります。
119	建築表現Ⅲ	安藤・君	建築は2次元のものを3次元とする学問領域で、イス作りはものづくりの基本的要素を多く含んだ課題です。初めての人にはやりにくさがあるかもしれませんが、何度か計画していくうちに上手になり楽しくなると思います。
120	球技Ⅰ(バスケットボール)	天野 雅斗	保健体育教諭としてのバスケットボールの知識・技術・授業運営方法について学びを深めさせました。技術指導に偏らず、教諭として安全面・教育面をどのように管理・指導していくかをより重視して指導していく。よって、指導者としてゲームをコントロールする体験も今後は実施していく。
121	球技Ⅱ(バレーボール)	天野 雅斗	保健体育教諭としてのバレーボールの知識・技術・授業運営方法について学びを深めさせました。技術指導に偏らず、教諭として安全面・教育面をどのように管理・指導していくかをより重視して指導していく。よって、指導者としてゲームをコントロールする体験も今後は実施していく。
122	球技Ⅳ(ソフトボール)	井坂 肇	保健体育教諭としての実技技能の向上および知識・指導方法のさらなる習熟に向けて、授業内容の見直しを図る。ソフトボールは固いボールや金属のバットを使用するので、まず安全面に配慮することが何より大事である。男女混合で行ったため競技力に差がありゲームが困難な場面もあったが新規ルールの導入によって、最終的には拮抗したゲームが展開されるようになった。この点は今後の教員としての活動にいとと思う。競技の面白さを感じて貰えるように練習や指導方法を工夫したい。ルールは良く理解されていたように感じた。
123	球技Ⅵ(サッカー)	木島・小助川	履修学生の实技に対する積極的な参加が効率和質を高めてくれました。スポーツ経験のある皆さんなので体育としてのサッカー実技レベルを想定すると高い実技レベルに対応する授業になってしまいました。悪い事ではないですが、実際に皆さんが対象にされる方たちを見て難易度の調整を考えるという事が皆さんと授業を通してできました。大変良い実技の授業が開催出来ました。皆さんご協力、ありがとうございました。
124	イラスト漫画概論Ⅰ	竹内 美帆	授業内容への興味・関心や理解度、全体的な満足度について高い評価をいただくことができました。特に、マンガをさまざまな視点から考えることや、ディスカッションを通して他の学生の意見に触れ、考えの幅を広げられたという意見を多くいただきました。本授業では、マンガについての知識を得るだけでなく、自分なりの視点を持ち、他者と意見を交わすことを重視しているため、今後継続していきたいと思ひます。一方で、課題の提示方法や授業の時間配分、プリント記入時の進め方、イラストに関する内容への要望もいただきました。これらの意見を参考に、より学びやすく充実した授業となるよう改善していきます。
125	写真表現Ⅰ	林 春生	授業進行の時間配分が悪いというコメントがあった。貸し出せる機材に限りがあるため、待ち時間があつたのは事実である。次回は待っている学生には他の講義を行い、無駄な時間が少なくなるように改善する。学生の理解度を配慮に欠ける指摘があつた。一人ひとり、確認して進行していたが、取り残された学生が居た可能性がある。次回はもっと注意深く進めて、確認も怠らないように改善する。
126	日本画	岡 恵子	この授業の難しい点は、ほとんどの履修生にとって全く初体験となる分野であり初めて触れる画材や色材であることで、限られた時間内でこれらの特徴や扱い方など基礎知識を身に付けつつ作品の制作をすることはかなり難易度の高いことになることである。基礎知識を身に着けつつ作品のテーマを選び取材を重ね構図を決め彩色に入るまでも相当の時間とエネルギーを要する。昨年度までは授業時間内ですべての写生や取材を行なっていたが、昨年の授業アンケートの中に「授業時間内で写生をするのには時間的に無理があるので、各自自宅などでするようにしてほしい」とあつたので、今年度からは授業で写生(デッサン)する時間をかなり削ることになった。本来なら対象の写生は最も大切な部分なので指導に重点を置きたかつたが叶わず。適切な指導を行なえなかつた学生が居て不満や不安を感じさせたのであれば指導の至らなさを反省します。今後授業の時間配分なども含めて改善を図って行きたい。より充実した授業ができるよう努力します。良い意見を有難く感じます。
127	洋画	安田 祐造	高い評価をいただけてホッとしました。今年の受講生の方々の作品のレベルは今までにないほどに高いものがありました。ぜひ絵画制作を続けてほしいものです。
128	技法・材料研究	安田 祐造	受講生数が高く嬉しくもあり、また、肉体的に追いつかず、十分に満足のいく授業を展開できなかったこともあつたと思ひます。これからも絵画の良さを探索し続けてください。
129	福祉士試験対策基礎講座Ⅰ	上原・杉本	全体に良い評価をいただきました。感想では「国試対策はものすごく大事」などの意見もあり、大切さを意識化できただけでも良かったと思ひます。また意見にもありましたが、学問として授業があるのか？国家試験対策として授業があるのかという、疑問が残る点もあります。しかし双方を意識した授業展開が大切だということ意識づけされました。修正点としては、2回授業を実施し、3回目に試験を行っています、解答用紙の回収については、今後検討をしていきたいと思ひます。ご回答いただき、ありがとうございました。
130	社会科・地理歴史科教育法Ⅰ	塩崎 大輔	今年度は例年に比べて理解が進んでいなかったため、来年度はより丁寧な解説に努める。
131	社会科・公民科教育法Ⅰ	松下 守邦	2026年度の本授業は、履修学生の出身高校によって、公民科の学習経験が、普通科における必修科目と選択科目の計3科目から、総合学科や職業学科における必修1科目のみまで多様であることを踏まえ、公民科3科目の生徒向け参考書、問題集、ワークドリルなどを自習できるデジタル教材として提供しました。公民科の教科的特徴、学習指導要領と解説、教科書の内容理解をこうなうため、後期の模擬授業の授業範囲に合わせた課題学習に取り組んでもらいました。次年度以降も、履修学生の理解状況を踏まえながら、授業シラバスの改善を進めてまいります。
132	美術科教育法Ⅰ	竹内 美帆	授業の進め方や教材、授業内容への理解度、全体的な満足度について、概ね高い評価をいただくことができました。特に、毎回の授業で問いを投げかけ、自分の考えを述べる時間を設けたことや、材料研究を通して知識の定着を図ったことについて評価いただけたことを嬉しく思ひます。「美術科教育法Ⅰ」では、美術教育に関する知識を身につけるだけでなく、実際の生徒の姿を想定しながら、自分自身で考え、意見を持つことを重視しています。今後も、学生同士で考えを共有する機会や具体的な事例を取り入れながら、将来の授業実践につながる学びを深められる授業づくりにも努めていきます。
133	保健体育科教育法Ⅰ	高井 雅一	教科書の解説中心の授業後、ペアで作業をしながら、指導案等の完成を目指し授業を展開したが、大会等で公欠の学生が多く、スムーズに進めなかった。次年度の課題として工夫をしていきたい。
134	美術科教育法Ⅲ	三上 いずみ	アンケート結果では、授業内容や教材、スライドを用いた説明について概ね高い評価を得ることができた。特に、演習を中心とした授業構成が実践的な技術の習得につながったとの意見が見られた。一方で、授業中の言葉遣いについて改善を求める意見もあったため、学生一人ひとりへの配慮をより意識しながら指導に努めたい。今後も理解度を丁寧に確認しつつ、教員を目指す学生にとって実践的で学びの深い授業となるよう改善を進めていく。